

コザ運動公園野球場基本・実施設計業務委託
概要仕様書（案）

1. 業務名称

コザ運動公園野球場基本・実施設計業務委託

2. 業務期間

着手日から令和9年3月31日迄

3. 業務の目的

本業務は、沖縄市野球場の機能強化に向け、プロスポーツを始めとした野球競技の利用を見据え、大会やキャンプ誘致等に必要な機能強化、競技者や関係者等が利用しやすい環境整備を目指すとともに、一般来場者、身障者など多様なターゲットを意識した、来場者等の満足度向上に資する機能強化を図ることを目的とする。

業務にあたっては、コザ運動公園再整備基本構想・基本計画を踏まえ、施設の課題となっているベンチ、ロッカールーム、スコアボード、便益施設等の改修のほか、新たに、来場者等の導線や過ごし方を意識した必要な来場者の満足度向上に向けた機能強化について検討し、基本・実施設計を行うものとする。

・設計と条件

予定工事費については、概ね9億円程度を上限とするが、詳細は協議により定める。

※野球場のナイター照明設備については、別途発注予定のため当該事業の設計業務の対象に含めないこと。コザ運動公園再整備基本構想・基本計画（175P～202 ページ）

なお、施設の基本的な考え方は以下のとおり。

(1) 施設利用向上に向けた選手・関係者の利便性向上

プロスポーツの利用を見据え、選手や関係者にとって使いやすく快適に利用できる施設を目指し、沖縄市をキャンプ地とする広島東洋カープのキャンプのほか、オープン戦、公式戦の開催誘致や、ジャパンウィンターリーグ等の開催誘致に向け、選手や関係者等が快適かつ利用しやすい、機能強化について検討し、設計を行うこと。

(2) 来場者等の利便性向上（基本構想・計画に付随する項目）

各設備の老朽化やトイレ設備改修など、施設の課題を踏まえ、来場者等の満足度向上につながる機能強化を検討し、設計すること。

上記（１）、（２）については、コザ運動公園再整備基本構想・基本計画（主に 25P、84P、140P～174 ページ）を踏まえ検討すること。ただし、当該計画では、費用が概算となっているため、精査が必要となることに留意すること。

また、より有効な改修方法、設備選定を妨げるものではなく、施設のさらなる利活用や満足度向上につながる機能強化案を提案すること。

(3) 更なる利用者・来場者等の満足度向上（導線、観客席、サイン・演出等基本構想・計画に付随しない項目）

関係者、一般来場者、身障者や多様な来場者等のターゲットを設定し、各ターゲットの導線や過ごし方を想定した各ターゲット層の満足度向上に資する改修案を検討し、設計すること。

(4) 維持管理性

日常の管理業務も含めた総合的な維持管理が容易であること。

保守やライセンス等、整備後、運用にかかるランニングコストの削減を含めた提案をすること。

※提案して導入する設備について、運用マニュアルや操作補助などの有無

のほか、整備後の保守ライセンス料などのランニングコストを明確にすること。

(5) 周辺施設への配慮

コザ運動公園全体のデザイン、周辺施設・園路等と融合しながらも象徴的な施設とすること。

4. 業務の対象

本業務の対象は、以下のとおりとする。

【沖縄市野球場（コザしんきんスタジアム）】

メインスタンド棟 鉄筋コンクリート造三階建（一部鉄骨造）

スコアボード棟 鉄筋コンクリート造四階建

建築面積 メインスタンド棟 4,928.16 m²

スコアボード棟 155.73 m² 合計 5,083.89 m²

延床面積 メインスタンド棟 5,707 m²

スコアボード棟 300.39 m² 合計 6,007.39 m²

競技機能 グラウンド面積 14,000 m²、両翼 100m、中堅 122m

内野は黒土と砂のクレイ舗装

外野はティフトン芝の天然芝舗装

観覧機能 内野スタンド約 7,260 席

外野スタンド約 8,000 席（席無：芝生）合計約 15,000 名。

5. 業務の内容

以下の項目に基づき、業務を進めること。

(1) 基本設計

①計画準備

業務の目的、内容を把握し、業務工程等を立案した業務計画書の作成を行うとともに、必要な諸準備を行う。

②現状把握

現地を踏査し、計画対象地及び周辺施設の整備状況を把握する。

また、既存施設及び設備について竣工図をもとに給水設備、排水設備、電気設備の配管・配線の埋設状況等を整理する。

③計画内容の設定及び検討

現状把握の整理結果のほか、敷地および施設規模からみた空間構成、利用者層、人数、整備水準等について、指定管理者へヒアリングを行ったうえ維持管理面の留意事項等を整理し、計画条件に沿って施設の計画方針を3案程度設定する。

④基本設計プランの取りまとめ

前項で検討した計画方針の方向性を具体化した基本平面図等を作成し、概算工事費及び維持管理費等を踏まえた比較検討及び説明資料（イメージスケッチ含む）の作成を行い、最も優れた案について基本設計プランとして取りまとめる。

（２）実施設計

①実施設計の検討

基本設計プランの実施設計を行うため、各種施設の設計基準及び構造、給排水・電気等の条件等を確認し、安全性、経済性、快適性、施工性、環境面への配慮等の観点から細部検討を行い、施工位置、形状寸法、材質、構造、施工方法等を設定する。

②施工計画の検討

前項までに係る実施設計の内容に対して、施工機械や手順の他、ヤード等の仮設工の位置や規模等を検討した上で施工計画を立案し、施工ステップ図や仮設計画図等を用いて取りまとめを行う。

③実施設計図及び数量計算書等の作成

実施設計の検討結果に基づき、工事発注に必要となる各種設計図を作成するとともに、公共建築工事積算基準等に基づき、示される工種毎に面積、延長数量、材料数量等を算出する。なお、設計図は以下の内容を作成する。

- ・各種平面、立面、詳細、展開図（計画、基準高、割付、給水設備、排水設備、電気設備、撤去等）

- ・各種構造図（給水設備、排水設備、電気設備等）
- ・その他監督職員が必要とするもの。

④概算工事費の算出

前項の設計図・数量等に基づき、概算工事費を算出する。

なお、物価資料や見積り徴収により単価を設定し、物価資料等に記載の無い材料等については、見積り単価を採用する。

⑤報告書の作成

基本設計の内容、実施設計の与条件となる設計基準を始め、諸施設の選定根拠、容量や規模等の算定根拠となる各種計算書、概算工事費の算出結果などを報告書としてとりまとめる。

（３）照査

基礎情報や設計条件等の把握、設計計画の適正度、設計方法や設計手法の妥当性、成果品の内容等について照査をおこなう。

６．業務の成果品

- （１）業務報告書（正・副）※完成イメージパース含む
- （２）電子データ（CD-R）

７．業務遂行上における留意点

- （１）受託者は、本業務の実施にあたり、市の担当職員及び関係者と十分に相互調整を行いながら推進すること。
- （２）受託者は、本業務の実施にあたり、関係する法令及び沖縄市契約規則等を順守し、誠実かつ確実に業務を遂行すること。
- （３）受託者は、コザ運動公園再整備基本構想・基本計画等、過年度に実施した計画策定及び各種調査結果等に基づいて進めるものとする。
- （４）受託者は、本業務中に知り得た事柄について守秘義務を負うものとする。
- （５）受託者は、業務の実施にあたり、管理技術者を配置し業務にあたること。

- (6) 受託者は、契約締結後、契約書に規定する契約関係書類を作成し、発注者の承認を得ること。
- (7) 測量等の現地調査、また、法令上の諸条件の調査及び関係機関との打ち合わせ、その他申請、届け出、手続き等に関する図書作成及び申請等に係る費用については全て本業務に含むものとする。
- (8) 本業務で作成された成果物の著作権は発注者に帰属する。
- (9) この仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、必要に応じて協議すること。